

共産主義研究会＝原理研究会 原理の策動を粉砕せよ！

全ての学友教職員の皆さん。現在京大は、危機に瀕している。あの原理研（＝勝共連合）が、共産主義研究会の名を使い、「1960年1月3日間、教養部A号館前を武装制圧したのだ。始島にも武装部隊を学友の目から匿しながら。そして、原理研を追及する学友への中傷デマ宣伝、「共産主義＝悪魔」宣伝を行なった。

昨春から、原理研の目に余る策動に対して勇気ある学友の手により、公開討論会、講演会等が行なわれ、原理研を決して許してはならないという認識が全京大に広まつた。にもかかわらず、彼らがこの時期に武装制圧を行なつたのは、今春の寒假期に向けて京大を完全に支配下におくことを狙つたものである。そして青山学院の様に言論封殺を京大でも公然と狙つてゐる。その上で、原理研（＝共産研）は、4月府知事選、ついで、数年後の政治大決戦で一時に憲法改正、一反動支配勢力の手先として働く二とは必ずである。権力との癒着の例は、例

えば、斗争学生が原理と対峙した際、必ず力でその場を奪し、公安にたれこむのだ。これまで何人の学生がこのためデマされ逮捕をされたことか！（紛れもなく自己で身を包む理由がある。）

ここで我々は再度原理研（＝共産研）が自ら破壊者であり、反動化の政治の潮流の中で大きな役割を果たそうとしていることをはっきりと確認しよう。

彼らが、学友の追及により論理的に完全に破綻したにもかかわらず、教養武装制圧を狙つ以上、我々はこれを実力をもって排除せねばならない。そして彼らの正体とその目論見が完全に明らかになつた今、我々は二に緊急行動を提起する。

- 原理研＝共産研を徹底的に追及し、その存在を許さず、京大から排出せよ！
- 原理研＝共産研の政治的役割には、より確認し、全国的規模で攻撃を加え、これを完全に粉砕せよ！